

DX 企業講話 日置電機株式会社 様



知財法務室長 満木 様

講話内容

- ・ 知的財産にかかわる法律や制度について
- ・ 産業と知的財産のかかわり
- ・ 企業や社会における知的財産の位置づけについて
- ・ 製品や商品など具体的な知的財産の紹介 など

学生のワークシートから抜粋

【わかったこと等】

- ・ 特許は 20 年間。
- ・ 特許とは、国が法律で保護してくれる権利である。
- ・ 特許として認められるものは新規性と進歩性があるものが認められる。
- ・ 特許は、開発者のモチベーションを上げ、産業を発展させる大切なものである。
- ・ 公正な競争によって社会は発展していく。なので特許権が必要になってくる。
- ・ 企業にとって、商売で利益を独占するためには特許が大事。
- ・ 他国からまねされるリスクもあるので海外でも特許を取ることが大切
- ・ 他の国にも特許を出すことで、世界的に独占してビジネスを大きくすることができる。
- ・ 特許をとっても抜け道みたいなのがあって模倣品はブランドを傷付けるので、特許を取る時はしっかりしてまねされないようにするということが分かった。
- ・ エネルギー源は時代によって変わっていった。エネルギー源が変わると設備もどんどん変わっていった。特許を取らないと他の企業にアイデアを盗まれる。

【感想】

- ・アイデアをつぶさないように特許があるんだなと思いました。
- ・特許の難しさ、大変さなどが改めて知ることができ、今後どっかで使うかもしれないのでしっかり勉強したいです。
- ・特許によってもたらされるメリットが多く、取得者だけでなく産業発展にも貢献でき、特許のすごさに驚いた。
- ・課題とは理想と現実のギャップという言葉が印象に残った。特許の大切さやメリットが多くあり、特許があることでたくさんできることが増えると思っていたが似ているものは減らないのは悔しく感じた。
- ・自分がエンジニアのような仕事をしたときに役に立つと思った。
- ・自分も特許を出せるようなアイディアを出せる人になりたい。
- ・人は理想を追い求めて技術をみがいて成長していくんだなと思った。
- ・これから就職するにあたって今回の講話を聞いて自分が主体的にできるような会社選びをしたい。
- ・特許出願するだけでも多額のお金がかかってしまうのに出願する人がいるのは、特許権がどれだけすごいのかを物語っていると思った。
- ・多くの苦勞によってつくった製品を多大な時間や金銭をかけて特許にしても模倣品が出る可能性があるを知り、アイデアを独占することはとても難しいのだと思った。
- ・特許について実際に自社であったできごとをもとに話していただき、単純な話ではなく、特許がどれだけ複雑で大切なのか知れてとても自分のためになった。